

リオ+20成果文書「我々の望む未来」

## 5. 行動とフォローアップのための枠組み (Framework for action and follow-up)

### A. テーマ領域と分野横断的課題 (Thematic areas and cross-sectoral issues)

#### 教育—パラグラフ229～234

229 教育の権利に対するわたしたちのコミットメントを再確認し、この文脈に於いて、私たちは、とりわけ途上国に対する初等教育への普遍的なアクセスを獲得するため、国際協力の強化にコミットする。わたしたちは、さらに、MDGsを含む国際的に合意された開発目標、女性と男性、とりわけ若者の両方の完全参加の実現にむけ、あらゆるレベルでの質ある教育への完全なアクセスが持続可能な開発、貧困撲滅、ジェンダー構成、女性のエンパワーメントおよび人間開発を実現する上で必須条件であることを再確認する。この意味あいでは、わたしたちは、障がいを持つ人びと、先住民族、地域コミュニティ、少数民族、地方に暮らす人びとの教育への平等なアクセスを確保することの必要性を強調する。

230 私たちは、若い世代が未来の番人であることと、初等レベルを超えたより高い質とアクセスの必要性を認識する。それゆえ、わたしたちは、持続可能性に関連した教員教育の推進やカリキュラム開発、学習成果を高めていくための情報コミュニケーション技術のより効果的な利活用を含め、人びとが持続可能な開発を推し進めていけるよう、わたしたちの教育システムの能力を改善することを決意する。わたしたちは、あらゆるレベルでの質ある教育へのアクセスを推進していくための努力という点に於いて、学校、コミュニティ、自治体間の協力の推進を呼びかける。

231 わたしたちは、加盟国に、国連持続可能な開発のための教育の10年の目標と関連する形で、ノンフォーマル教育のプログラムを推進し、とりわけ若者の持続可能な開発についての意識向上を奨励する。

232 わたしたちは、教育のためのインフラ基盤の構築・強化や、とりわけ途上国における万人のための教育の質改善に向けた教育への投資を含む、教育へのアクセス改善にむけた幅広い国際協力の重要性を強調する。

233 わたしたちは、持続可能な開発のための教育 (ESD) の推進と、国連持続可能な開発のための教育の10年 (2005-2014) 以降も、持続可能な開発をより活発に教育に組み込んでいくことを決意する。

234 わたしたちは、教育機関が、学生、教員、地域のパートナーの積極的な参加や、教科を横断する総合的な内容の物として持続可能な開発を教授すること、各自のキャンパスやコミュニティの持続可能な経営における好実践を取り入れていくことを奨励する。

235 わたしたちは、特に教育分野における持続可能な開発のための研究とイノベーションを実施し、質ある革新的なプログラム開発を行う教育機関、とりわけ途上国における高等教育機関への支援の重要性を強調する。ここには、起業やビジネススキルトレーニング、専門、技術、職業訓練、生涯教育、国家の持続可能な開発目標を高めていく上での技能のギャップを埋めていく能力を身につけさせるプログラムが含まれる。